

8K技術の応用による医療のインテリジェント化に関する検討会 開催要綱（案）

1 目的

8Kなどの超高精細な映像技術は、これまで、放送分野におけるより高画質・高機能なサービスの提供等に向けて検討が進められてきたが、その他にも様々な産業分野、特に医療分野において新たな機器・サービス及びビジネスの創出等が期待されている。

また、8Kなど医療以外の分野で開発・実用化された革新的な技術の応用による医療の機械化・知能化などの医療分野のインテリジェント化については、誰もが健やかに、老後も安心して暮らしていく環境の実現に向けて重要な検討課題となっている。

このため、医療分野のインテリジェント化によるイノベーションの実現に向けて、8K技術の医療応用や、これにより得られた高精細映像データの利活用の可能性及び実現に向けた課題の検討を行うため、本検討会を開催する。

2 名称

本会は、「8K技術の応用による医療のインテリジェント化に関する検討会」と称する。

3 主な事項

- (1) 8K技術を活用した機器開発及び遠隔診療の実用化その他の8K技術の医療応用に向けた検討
- (2) 画像解析を始めとする高精細映像データの利活用の可能性と実現に向けた課題の検討・整理

4 構成及び運営

- (1) 本懇談会の構成員は、別紙のとおりとする。
- (2) 本懇談会には、座長を置く。
- (3) 座長は、本懇談会を招集する。
- (4) 座長は、必要に応じ、構成員以外の出席を求め、意見を聴くことができる。
- (5) その他、本懇談会の運営に関し必要な事項は、座長が定める。

5 議事の公開

- (1) 本懇談会の議事及び使用した資料については、次の場合を除き、公開する。
 - ① 公開することにより当事者又は第三者の権利、利益や公共の利益を害するおそれがあると座長が認める場合
 - ② その他、非公開とすることが必要と座長が認める場合
- (2) 本懇談会終了後、速やかに議事概要を作成し、公開する。

6 開催期間

本懇談会は、平成28年4月から開催し、同年夏頃までを目途とする。

7 庶務

本懇談会の庶務は、内閣官房健康・医療戦略室及び総務省情報流通行政局情報流通振興課情報流通高度化推進室において行う。

8 K技術の応用による医療のインテリジェント化に関する検討会 構成員名簿

(敬称略、座長を除き 50 音順)

座長	永井 良三	自治医科大学 学長
	安藤 広志	国立研究開発法人 情報通信研究機構 (NICT) 脳情報通信融合研究センター (CiNet) 脳機能解析研究室 副室長
	大山 永昭	東京工業大学科学技術創成研究院 教授
	金光 幸秀	国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院 大腸外科科長
	北川 雄光	慶應義塾大学医学部外科学 教授
	喜連川 優	国立情報学研究所 所長 東京大学生産技術研究所 教授
	黒田 徹	NHK放送技術研究所 所長
	國土 典宏	東京大学医学部附属病院 肝胆膵外科、人工臓器・移植外科教授
	堺 常雄	一般社団法人日本病院会 会長
	坂井 義治	京都大学医学研究科外科学講座消化管外科分野 教授
	山本 修一	国立大学附属病院長会議 常置委員長 千葉大学医学部附属病院 病院長
	山本 修三	一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長

(オブザーバー)

内閣官房	情報通信技術 (IT) 総合戦略室
経済産業省	商務情報政策局ヘルスケア産業課医療・福祉機器産業室
厚生労働省	医政局研究開発振興課医療技術情報推進室
国立研究開発法人日本医療研究開発機構	産学連携部医療機器研究課